

関西で星を学ぶ会

2017年2月25日

【はじめに・観望会が少ない地域で失敗からのスタート】

- ・兵庫県の星のソムリエ『はりま宇宙講座』を卒業して、大阪市の小学校や市民交流センターへ天体観望会の提案。→連続して断られる。→行政や市民から信頼を得られることを目指して、天体観望会以外の道を模索する。
 - ・星のソムリエ講座は終了後、「復習する場が無い」という卒業生の声が多かった。→「はりま宇宙講座」卒業生の皆様の声に応えるため、2013年9月に大阪駅前第2ビル(梅田)にある「大阪市立総合生涯学習センター」で『自主学習サークル』として登録、自主勉強会を開始する。
- ★「星のソムリエ」「星空案内人」は山形大学の登録商標であり、星空案内人資格認定制度における資格の名称。

【大阪駅前第2ビル 大阪市立総合生涯学習センターで自主勉強会】

- ・<梅田の自主勉強会>講師は星のソムリエ(星空案内人)によるボランティア。 **テーマは、人の心をつなぐ星のお話と知識の伝承**
- 天文台や科学館の職員さんや元職員ではない、“アマチュア”による講義。
- 受講者も星のソムリエ(星空案内人、準星空案内人)とその家族、友人。 **主催: 関西で星を学ぶ会**
- 兵庫県、大阪府、奈良県、愛知県から参加。約2時間の座学の補習講義。 **後援: はりま宇宙講座実行委員会**

	開催日	参加数	主な学習テーマ	備考
第1回	2013年12月1日	18人	天体望遠鏡の鏡筒、アイソン彗星	
第2回	2014年3月21日	18人	月(太陽系の衛星たち)、見えない天体の探し方	
第3回	2014年7月6日	19人	星の話(明るさ、色、二重星)、北極星のを見つけ方	
第4回	2014年11月30日	11人	星雲・星団の話、双眼鏡、ネビュラフィルター	
第5回	2015年4月29日	21人	天文ニュース、星座(歴史と定義)、星の図形	星のソムリエ京都から参加
第6回	2015年10月12日	10人	銀河系と系外銀河(構造、種類、セファイド変光星)	
第7回	2016年2月11日	12人	水星と金星(日面通過、惑星探査)、ステラリウム	
第8回	2016年7月3日	13人	銀河系(太陽系の運動など)、皆既日食クルージング	望遠鏡の室内練習を開始
第9回	2016年11月20日	13人	火星(探査、地球型惑星地表面の話)、晩秋の星座	ホームページ開設

【大阪市の市政に翻弄される天体観望会(関西で星を学ぶ会は”協力”)】

- ・2014年2月に大阪市の花博記念公園鶴見緑地の「環境学習センター生き生き地球館」に天体観望会を提案する。(環境学習センター生き生き地球館は、橋下市長の方針で2014年3月末に閉館、廃止された。)
- 「環境学習センター」を管理する「大阪市環境局環境施策課」は縮小するが存続、観望会の提案は採用される。
- ・2014年11月15日(土)大阪市の城東区役所の祭り「キャンドルナイト城北川」で観望会&天文教室を開催する。
- 「キャンドルナイト城北川」観望会の成功から区役所観望会の内示を受ける。
- 住吉区役所に観望会の「閉庁日の土曜日開催」を要望し、実現する。
- ・2015年2月28日(土)、大阪市の住吉区役所の屋上で『星空観察会in住吉』が開催される。(曇りの時間が大半)



- 複数の区役所で観望会の話があったが、開催できなかった。
- ・2015年7月25日(土)大阪市立住吉スポーツセンターで観望会。
- ・2016年2月21日(日)大阪市立東成図書館「星空ファンタジーおおさか星空観察会」(太陽観望会とミタカの上映)。
- ・2016年3月19日(土)大阪市立荻田南小学校(大阪市生涯学習ルームとして)で観望会。
- ・2016年に住吉スポーツセンターの観望会を4回予定する→「主催の住吉スポーツセンター」に対して、監督する「住吉区役所の許可が降りない」事態が、4回連続する。→区役所が後援する「関西で星を学ぶ会」主催の観望会へ

【関西で星を学ぶ会”主催”の天体観察会】 **テーマは、一般市民と星のソムリエの輪** 後援: 大阪市住吉区役所、はりま宇宙講座実行委員会

- ・2016年7月18日(月・祝)大阪市住吉区「浅香中央公園」参加者約50名。
 - ・2016年11月12日(土)大阪市住吉区「浅香中央公園」参加者約100名。
 - ・2017年2月12日(日)大阪市住吉区「浅香中央公園」(予定)
- お客さんは参加費無料、申し込みなし、制限のない、だれでも参加できる観察会です。
兵庫県、大阪府、奈良県の「星のソムリエ(星空案内人)」の皆様のご協力に感謝します。